２０２６年１１月号-２

伊賀市立桃青の丘幼稚園だより

あさがお

～多様な主体性を涵養する教育～



晩秋の候、保護者の皆様におかれましてはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。さて、去る 11 月 12 日に開催いたしました本園の「学校教育研究事業研究発表会」におきましては、登降園時間の変更をはじめ、温かいご理解とご協力をいただき誠にありがとうございました。

当日は、子どもたちが日々の遊びや生活の中で仲間とともに夢中になり、心地よく関わり合いながら育ち合う姿を、たくさんの関係者の皆様にご覧いただくことができました。子どもたちは、大勢のお客様が見守る中でも緊張しすぎることなく、いつものように進んで遊びを楽しんだり、のびのびと生活を送ったりしていました。その頼もしい姿に、日々の積み重ねの大きさを改めて実感いたしました。

また、発表会に引き続いて開催いたしました、本園の研究をご指導いただいている三重大学の富田昌平先生によるご講演も含め、私ども教職員にとっても大変深く、得がたい学びの時間となりました。

本園ではこれまで、「夢中になって遊ぶ姿を支える保育～心地よくつながりあう体験を通して～」というテーマに向き合い、研究を重ねてまいりました。今回の経験を糧に、これからも子どもたちの豊かな姿をしっかりと捉えることから始め、一人ひとりに寄り添ったきめ細やかな教育ができるよう、教職員一同さらに研修を積んでまいります。

自ら遊びを選び楽しむ中で、他者と心地よくつながりあう
～遊びの中で育つ、知的探求心～



A さんが大きなやかんに水を入れてきて、トユを使って砂場に水を流そうとしました。
A さんは、必死でやかんを持って挑戦していましたが、うまくいきません。



その様子に気づいた B さんが来ました。B さんは、気のあうAさんの姿を見て、水を流したいのだと感じました。
Bさんは、そっとやかんを持ってトユに水を流し入れました。



その後、A さんと B さんは、水を流せてその喜びを共有しました。
「見て～!流せたよ!」「本当だ!もっとたくさん流してみようか。」
「うん、そうしよう!」

この事例のように、生活力が身につき落ち着いてくると、遊びに夢中になれるようになります。遊びに夢中になる中で、友だちの思いにも気づくようになってきました。
何気ない遊びのようにも見えますが、そうではなく、子どもたちの遊びには様々な成長の要素があります。私たちは、その姿を見逃さずに子どもたちとかかわっていきたいと思います。そして、子どもたちの教育環境を整えていくことを忘れないようにしたいと思います。



～異年齢での育ちあい～
左の画像は、年少組さんの砂場遊びの様子です。
今までこのような遊び方は見られませんでしたが、年上の姿を模倣して自分たちで工夫するようになりました。
どの年齢の子どもにもこのように成長が見られます。

伊賀市 PTA 連合会スポーツレクリエーション親睦大会
～ももっこファミリー出場～

去る 11 月 15 日のスポレク親睦大会に、桃青の丘の保護者チームが出場しました。
「ボッチャ」というスポーツを楽しみました。
チームで声を掛け合い笑顔で活動する姿、相手チームにも声を掛けて、互いにコミュニケーションを図っておられる姿がとても素敵でした。
その姿は、園玄関エントランスに掲示していますので、ぜひご覧ください。
閉会式では、「応援賞」をいただきました。みなさん、本当にお疲れさまでした。

「ももっこファミリー」











～11 月あさがおイラスト～
するどい観察力と行動力をもつ
ことはさん

文責 まつなが あい